

第60期 報告書

2022年 1月 1日～
2022年12月31日

「世の中にない」「真に役立つ」
それが、私たちの研究開発の出発点です。

経営理念

1. 人を育てる
2. 技術を育てる
3. クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる

事業領域



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第60期報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役副社長
堀口展也

代表取締役会長
酒井眞一郎
(登記名 眞一)

代表取締役社長
村川 勉

2022年、前年末には一度収束したかに思えた新型コロナウイルスの感染が、年明けとともに再拡大へと転じました。その後オミクロン株への置き換わりが進み、感染しても重症化リスクが低くなったことから、人流を止めて感染を抑え込むのではなく、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動を両立させる、いわゆる「Withコロナ」を目指すという政府の舵取りもあり、新規感染者数は増減を繰り返しました。その結果、医療機関からの「ハイラック」の注文は、年間を通じ高い水準で推移し、前年を上回る出荷量となりました。今後の感染の動向を予測することは困難ですが、まずはできる限り早期に、受注残の解消を目指すとともに、状況に応じた生産体制で対応してまいります。

産業用マスクは前年からの回復基調が継続するとともに、金属アーク溶接等作業に関わる規制変更に伴い開発し、新たに市場投入した「電動ファン付き呼吸用保護具BL-7005」の販売が堅調に推移したこともあり、前年を上回る結果となりました。今後も安定的に推移するものと見ています。

一方、オープンクリーンシステム「^{コーチ} KOACH」の販売につきましては、一昨年から開始したリモート営業を、弊社営業員が試行錯誤を繰り返して「リモートライブ営業」へと進化させ、年間を通じ実施いたしました。飯能先進技術センターに展示している大型の「フロアコーチ」

を、臨場感あるライブ映像とともに購入決裁者に直接プレゼンテーションすることにより、大型物件の成約が増え過去最高の売上高となりました。「KOACH」は、クリーン度の高さ、環境面、コスト面など、ユーザーに多くのメリットをもたらす機器でありながら、余りにも革新的技術であるために、実機を見るまではなかなか理解を得られない商品でした。「リモートライブ営業」から得られた前期の結果は、本事業の更なる発展を予感させるものであり、今期も積極的に推進してまいります。

ロシアのウクライナ侵攻に伴う原油価格の上昇や円安の影響などによる、原材料及びエネルギー等の値上がりも現在も続いており、原価率上昇への対応が課題となっています。2023年は、これまで取り組んできている様々な合理化やコスト削減策を更に進めるとともに、製品価格の見直しも含め、この課題に総合的に対応してまいります。

現在のような社会変動の激しい局面では、何が起こるかを想定することは極めて困難ではありますが、弊社は技術開発をベースとして社会貢献するという理念を貫くことで、一層の発展に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、このような状況をご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2023年3月

営業の概況

当連結会計年度(2022年1~12月)の我が国経済は、新型コロナウイルスの感染動向に左右されつつも行動制限は緩和されるなど、社会経済活動の正常化が徐々に進み、国内景気は緩やかな回復傾向を示しました。しかし一方で、ロシア・ウクライナ問題に起因したエネルギー価格の上昇や供給面での様々な制約等による物価の上昇、またそれに伴う金融資本市場の急激な変動により、全体としては先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の中、マスク関連事業においては、産業用マスクの需要が年間を通して堅調に推移したことに加え、医療機関向け感染対策用マスクの受注総数が、期初計画及び前連結会計年度実績を上回る結果となりました。

また環境関連事業においても、オープンプリンシステム^{クオアチ}[KŌACHĪ]の大型機種「フロアーコーチ」の納入が順調に進み、売上高を大きく押し

上げました。

これらの結果、売上高は106億4千万円(前連結会計年度は102億3千万円)となり、3期連続で過去最高額を更新しました。

利益については、稼働率の向上とともに生産技術の改善による原価率の低減に注力し、全社を挙げた経費圧縮に努めた結果、営業利益11億84百万円(前連結会計年度は9億45百万円)、経常利益11億60百万円(前連結会計年度は9億22百万円)となり、期初計画、前連結会計年度実績を上回りました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は8億33百万円(前連結会計年度は8億62百万円)となり、期初計画を上回りましたが、「マスク新製造設備補助金」2億60百万円を特別利益として計上した前連結会計年度実績には至りませんでした。

セグメント別の業績は以下の通りです。なお、今回よりセグメントをマスク関連事業、環境関連事業、その他事業の3つに分けて記載しております。

マスク関連事業

売上高 90億 46百万円 (前連結会計年度は89億80百万円)

産業用の防じんマスク・防毒マスクの需要については、当連結会計年度中においても回復基調が続き、特に溶接用では、金属アーク溶接等作業について健康障害防止措置が義務付けられたことにより、安全性(防護性)の高い電動ファン付き呼吸用保護具が選ばれ、販売は堅調に推移しました。

また感染対策用マスクについては、感染拡大が繰り返されたことにより増加した受注残を解消すべく、高稼働率の生産体制を維持し、最大限の供給を継続しました。

環境関連事業

売上高 12億 52百万円 (前連結会計年度は9億15百万円)

オープンプリンシステム^{クオアチ}[KŌACHĪ]の大型機種「フロアーコーチ」は、その清浄度の高さ、低コスト、低消費電力という圧倒的な優位性に加え、短期での設置が可能であること等、既存のクリーンルームにはない特長が市場で評価されています。

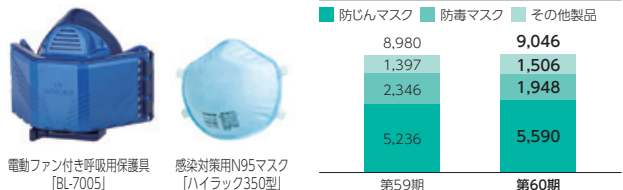
内容を充実させたユニークな「リモートライブ営業(実況中継によるオンライン説明会)」を展開したことが奏功し、全国の様々な機関への周知が進み、新規設備投資案件に幅広く組み込まれたことなどにより、販売台数、売上高ともに大幅増を実現しました。

その他事業

売上高 3億 5百万円 (前連結会計年度は3億7百万円)

自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置^{カガミナイ}「鏡内侍 II G」については、コロナ禍における医療機関の現場実態から販売活動が一部制限されたため、新規顧客への販売を伸ばすことはできませんでしたが、既存顧客の更新需要については着実に受注に結び付けました。

マスク関連事業売上高 (単位:百万円)



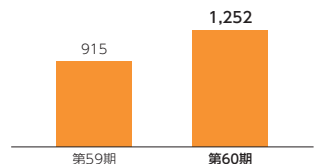
(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

電動ファン付き呼吸用保護具 [BL-7005] 感染対策用N95マスク [ハイラック350型]



オープンプリンシステム[KŌACHĪ] (フロアーコーチ)

環境関連事業売上高 (単位:百万円)

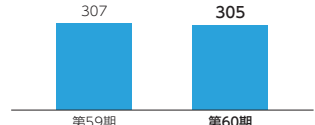


(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。



自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置 [鏡内侍 II G]

その他事業売上高 (単位:百万円)



(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

対処すべき課題

当社グループは、企業価値の更なる向上と持続的な発展・成長を実現するために、3つの経営理念「人を育てる」「技術を育てる」「クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる」を基に、それぞれの継続的課題に取り組んでおります。

【人を育てる】

多様性を受容する当社独自の人事管理制度「興研トータル人事システムHOPES」に基づき、年齢、性別、勤続年数を問わず活躍の場を与え、常に意欲のある人材を適所に登用しております。また、専門知識・能力向上を図る独自の社内研修プログラムを確立し、職分に応じて計画的、効果的に能力開発を進めております。

【技術を育てる】

創業以来、守り続けてきた「他社に追いつかない」「徹底的に研究する」という研究開発の理念を技術開発員一人ひとりに徹底・浸透させるため、技術専門能力を評価するマイスター制度や技術開発員と取締役全員が参加する月例研究発表会といった独自の仕組みを継続、運用しております。

開発テーマごとに、プロジェクトチームを編成して開発に当たる「マトリクス型」の研究開発体制を敷いており、技術開発員は、自由で独創的な技術開発と社会に有用な発展的応用を目指した研究開発に注力しています。

これらの取り組みによって、オンリーワン、ナンバーワン製品が次々と生まれ、知的財産権も多数保有するに至っております。今後も知的財産を質・量ともに向上させ、活用することを最重要課題として取り組んでまいります。

【クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる】

<クリーン>

世界最上級の清浄空間を、周りを困うことなく短時間かつ低消費電力で形成し、実際の作業時も高い清浄度を保つことができる革新的なクリーンシステム「KŌACH」を先進的技術開発を支える必須デバイスとして広く普及させ技術・生産の飛躍的進化へ貢献してまいります。

<ヘルス>

感染対策用マスクの需要の状況に応じた迅速かつ柔軟な対応を継続するとともに、新規採用された医療機関での感染対策用N95マスク「ハイラック350型」の安定供給と市場シェアの拡大に努めてまいります。

内視鏡室に「検査」「作業」「スペース」の3つのゆとりを与え、患者にとっても安全安心な検査を提供できる自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍II G」の拡販、普及に努めます。

<セーフティ>

安全で快適な電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンク」シリーズや使い捨て式防じんマスク「ハイラック」シリーズなど、安心してご使用いただける、使って喜ばれるマスクの開発、普及に今後も努めてまいります。

現在、厚生労働省が進める粉じん現場や溶接現場等における規制・管理強化の推進策に対し、規制の枠組みの中で最高位の安全性と最大限のアイデア・工夫を詰め込んだ製品開発や大手企業から個人会社まで産業を支える労働者の方々への月刊誌（CHSニュース）、会員サイト（興研CHS CLUB）等を活用した情報伝達、マスクを効果的に使用していただくための作業教育などを実施してまいります。

また、当社グループは、現在も収束時期の見極めが困難な新型コロナウイルス感染症がもたらすリスク及び課題に対し、以下のような取り組みを継続しております。

【マスクの生産体制】

ワクチン接種の進展等に伴い新型コロナウイルス感染症は徐々に収束していくことを予想しておりましたが、実際には再拡大を何度も繰り返し感染対策用マスクの受注数は年間を通して高い水準で推移しました。

こうした変動するマスクの受注に対し、当社グループは、今後も国内（中井テクノヤード・群馬テクノヤード）及びタイの生産子会社（SIAM KOKEN LTD.）において、減産・増産を機動的かつ柔軟に行い、市場の需要変化に対応してまいります。

【営業活動】

行動制限の緩和が徐々に進む中、未だ計画的な訪問・対面営業が難しい顧客等に対しては、Web会議等のシステムを活用した営業活動を全国の営業所で継続しています。

オープンクリーンシステム「KŌACH」の販売においては、実機でのデモンストレーションによる体験型営業に代えて始めた「リモートライブ営業」が好評で、受注物件は大型化し売上を押し上げています。今後もこの活動を更に進化させ販売増を目指します。

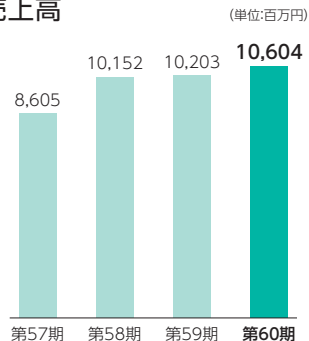
【社員の感染対策】

全社員は当社製感染対策用N95マスク「ハイラック350型」を常時着用し、また、在宅勤務やWeb会議を効果的かつ機動的に活用しています。

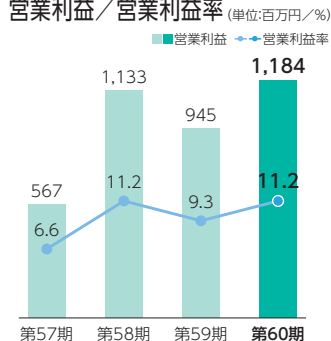
Withコロナの下、社員の感染対策を徹底し、受注から生産、出荷に至る一連のオペレーション体制の維持に努めてまいります。

財務ハイライト

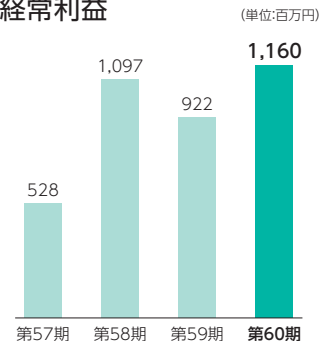
売上高



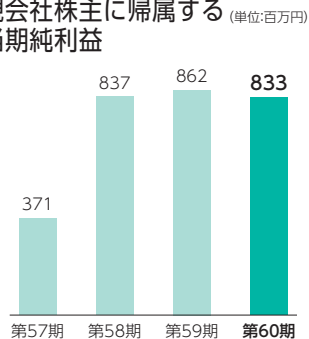
営業利益／営業利益率



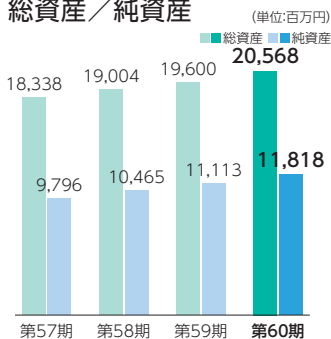
経常利益



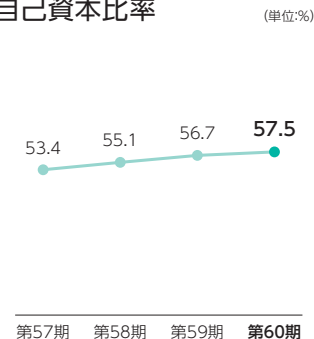
親会社株主に帰属する 当期純利益



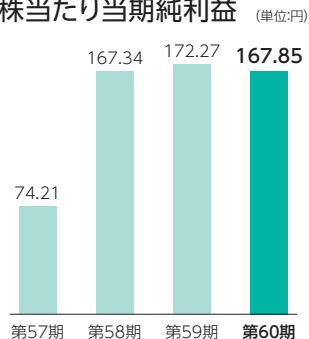
総資産／純資産



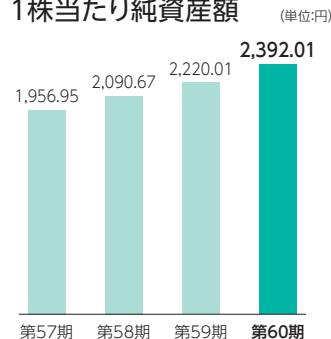
自己資本比率



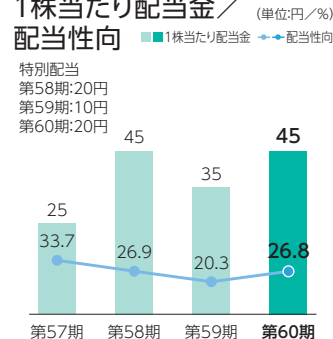
1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



1株当たり配当金／ 配当性向



(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第60期 2022年12月31日現在	第59期 2021年12月31日現在
【資産の部】		
流動資産	9,249	7,988
固定資産	11,318	11,611
① 資産合計	20,568	19,600
【負債の部】		
流動負債	4,410	4,108
固定負債	4,338	4,378
② 負債合計	8,749	8,487
【純資産の部】		
株主資本	11,644	11,109
資本金	674	674
資本剰余金	549	542
利益剰余金	10,702	10,053
自己株式	△282	△161
その他の包括利益累計額	174	3
③ 純資産合計	11,818	11,113
負債・純資産合計	20,568	19,600

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第60期 2022年 1月 1日から 2022年12月31日まで	第59期 2021年 1月 1日から 2021年12月31日まで
売上高	10,604	10,203
売上原価	5,611	5,556
売上総利益	4,992	4,647
販売費及び一般管理費	3,808	3,701
営業利益	1,184	945
営業外収益	50	48
営業外費用	74	72
経常利益	1,160	922
特別利益	—	261
特別損失	0	7
税金等調整前当期純利益	1,160	1,176
法人税、住民税及び事業税	363	280
法人税等調整額	△36	34
親会社株主に帰属する当期純利益	833	862

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第60期 2022年 1月 1日から 2022年12月31日まで	第59期 2021年 1月 1日から 2021年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	618	655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184	147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291	△176
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	198	622
現金及び現金同等物の期首残高	2,187	1,564
現金及び現金同等物の期末残高	2,386	2,187

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財政のポイント

- Point1 資産** 流動資産である商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加等により9億67百万円増加いたしました。
- Point2 負債** 流動負債である1年内返済予定の長期借入金の増加等により2億62百万円増加いたしました。
- Point3 純資産** 利益剰余金の増加等により、7億5百万円増加いたしました。

フィットテスト義務化に向けた準備が進む

改正特定化学物質障害予防規則等に基づき金属アーク溶接等作業を継続して行う屋内作業場では、(1)2021年4月から空気中の溶接ヒューム濃度測定が開始され、(2)2022年4月からは、この測定結果を基に、溶接ヒューム(マンガン)濃度に応じた防護性能のマスクの選択、使用が始まりました。さらに、(3)2023年4月からは、面体形の呼吸用保護具を使用する作業者について、1年以内ごとに1回フィットテストを実施することが義務付けられました。

【フィットテストの目的】

呼吸用保護具を基準に従って選択し、使用する上でその期待される防護性能を得るためには、顔への密着性(フィット)が極めて重要です。このため作業者それぞれが使用する「呼吸用保護具が適切に装着されていること」を確認することを目的としてフィットテストを行います。



定量的フィットテスト

なお、フィットテストには、呼吸用保護具の接顔部からの漏れを装置で測定して評価する定量的フィットテストと試験物質を検知する被験者の感覚反応によりフィットが妥当であるかどうかを評価する定性的フィットテストの2種類があります。



定性的フィットテスト

【フィットテスト実施の応援サービス】

●フィットテスト実践動画集「動画でみるフィットテスト」
会員サイト「興研CHS CLUB」にテストを行う際の参考にしていただける、動画集「動画でみるフィットテスト」を公開しています。

動画集は、定量的・定性的フィットテストの内容、テストに必要な機器の準備と設定から被験者への説明、測定方法、判定後の措置まで、テストの一連の流れを紹介しています。

●有償サービス「フィットテストサービス」

当社では、当社製マスクをご愛用いただいている事業者の皆様へ、フィットテスト実施者としてフィットテストを請け負う有償サービス「フィットテストサービス」を開始いたしました。

これはお客様の事業場に伺い、法令に基づいたフィットテストが実施できるように当社が支援するサービスです。

【実施内容】法令に規定された必要事項をすべて実施します。

- ①フィットテストの目的、手順の被験者への説明
- ②マスクの装着、シールチェックの方法説明
- ③フィットテストの実施、短縮定量的フィットテスト
- ④必要事項を満たしたテストの記録の作成

当社は、本サービスを通じて着用者の方々からマスクやフィット等に対する所感やご意見を直接お聞きする機会を増やすことで、今後の「安心して使用していただける、使って喜ばれる」製品作りに役立ててまいります。

多様な分野に広がるKOACH

オープンクリーンシステム「^クア^ーチ」が開発された当初は、研究施設や大学などで多く採用されていましたが、開発から10年以上が経過した現在においては、多様な分野での採用が進んでおり、「KOACH」が生み出すスーパークリーン環境を必要とする場面は多岐にわたります。以下に「KOACH」が採用された各分野での事例をご紹介します。

【半導体分野(めっき薬品製造用/フロアーコーチ)】

半導体分野を中心とするお客様からの清浄度要求の高まりを背景に「フロアーコーチ」を導入されました。

「将来的により高い清浄度を要求されることもあると思うが、「KOACH」のISOクラス1の清浄度なら、お客様の要望にしっかりお応えすることができ、安心や信頼につながると感じている」とのことです。



充填機からの発塵によって汚れてもすぐに清浄度が回復する

【遺伝子研究分野(RNA分析用/テーブルコーチ)】

遺伝子の発現情報をより高い精度で解析できるRNAの極微量解析作業に「テーブルコーチ」を導入されました。

「開放状態で作業性が向上した」、「清浄度が高まりコンタミネーションしなくなった」、「サンプルの乾燥が抑えられた」等により検査精度の向上につながっています。



「KOACH」なら作業性を損なうことなく、分析精度を向上できる

【精密加工分野(フィルム精密加工用/フロアーコーチ)】

フィルム等の貼り合わせ加工では、異物やゴミが混入する確率が高く、それを防ぐには「KOACH」のサイドフローの気流が適していたことから「フロアーコーチ」を導入されました。

また、点検やフィルタ交換も容易で、ランニングコストも以前より大幅に抑えられているそうです。



スーパークリーンルーム内部(ISOクラス1)で、貼り合わせ加工を実施

【食品分野(菌検査用/スタンドコーチ)】

「KOACH」は複数人で同時に作業でき、作業が効率化されました。

それにより、現状の人数のまま対応できる検査数を大幅に増やすことができ、また清浄度もクラス1で、より正確な検査が可能になったそうです。



対面作業もでき、物の受け渡しがスムーズなため作業動線が効率化

このほか、医療(例:体外受精の顕微授精用/フロアーコーチ)、宇宙(例:宇宙空間の微粒子分析用/テーブルコーチ)などの分野にも導入が広がっています。

Withコロナ下における施策

2022年も感染の再拡大が何度も繰り返される1年となりました。当社はWithコロナの下、医療従事者の感染対策として使用されているN95マスク「ハイラック350型」の安定供給とシェア拡大に努めています。

また、感染症患者の個人隔離が可能な「感染症患者専用マスク」の普及並びに医療分野に特化した新製品「感染対策用高性能マスク」「感染対策用保護メガネ」を新たに上市し、市場拡大に努めました。

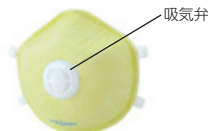
【感染症患者専用マスク「ハイラックうつさんぞ」】

感染症患者は「吸気弁」からマスク外の空気を楽に吸うことができ、かつ「高性能フィルタ」と顔との密着性を高める「FFリップ」によって吐く息に含まれるエアロゾルや飛沫をできるだけマスクの外に出さない構造になっています。

感染症患者の方が当マスクを装着し、医療従事者の方が「ハイラック350型」を装着することで、感染リスクが高まるシーンでも安心して医療の提供ができます。



ハイラック350型



ハイラックうつさんぞ

【感染対策用高性能マスク「1180MD型」】

N95マスクと同等の捕集性能を有するフィルタを取り替えるタイプの感染対策用マスクです。

マスク本体としめひもは洗浄・消毒が可能で、交換部品はフィルタ以外に、しめひも、吸気弁、排気弁もご用意していますので、衛生的な手入れをすることで長くご使用できます。

内蔵したフィットチェッカーで陰圧法によるフィットチェックが簡単にできます。



1180MD型



フィットチェッカー

【感染対策用保護メガネ「KE-01 Premium for Hi-Luck」】

ハイラックとの相性が良く、液体飛沫・飛来物から眼を守る高品質の感染対策用の保護メガネです。

アイケアグラス史上最高の曇り止めコートレンズは圧倒的に曇りにくく、耐薬品性にも優れています。頭部・顔との隙間ができにくい密着度を高めた構造になっており、重量も35gと軽量です。



KE-01



眼鏡の上からの着用可

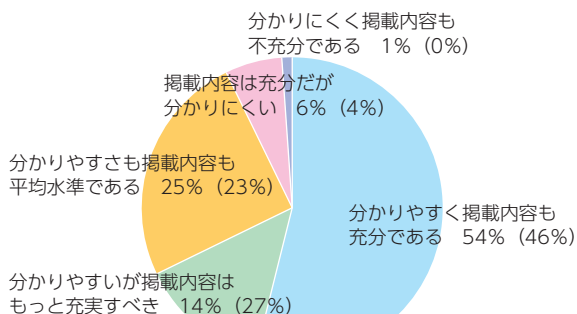
株主アンケート結果

前回「第59期報告書」にて実施した株主アンケートの集計結果をご報告いたします。当社では一つひとつのご意見を真摯に受け止め、IR活動の参考とさせていただきます。

今後ともよろしくご意見申し上げます。

Q 事業報告書の掲載内容についてお聞かせください。

()内は前々回「第58期報告書」結果



Q 当社に対するご意見をお聞かせください。

業績向上に努めて増配という形で株主還元してほしいです。

安定した成長を期待しております。

一層の技術革新への取り組みを待望いたします。

オンリーワン、ナンバーワンを目指して頑張ってください。

SDGsへの更なる貢献に期待します。

原価の上昇への対策を、より積極的に取り組むべき時期にきているのではないのでしょうか。

株価対策への取り組みを切に願います。

など

会社概要

商号 興研株式会社 (英文社名)KOKEN LTD.
 創業 1943年(昭和18年)5月10日
 設立 1963年(昭和38年)12月12日
 資本金 674,265,291円
 本社所在地 東京都千代田区四番町7番地
 従業員数 連結307名(うち当社232名)
 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
 事業内容 防じんマスク、防毒マスクなどの労働安全衛生
 保護具及び環境関連機器・設備の製造、販売

株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 5,104,003株
 株主数 3,074名
 大株主(上位5名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
公益財団法人酒井CHS振興財団	600,000	11.93
酒井 眞 一	591,000	11.75
酒井 井 宏 之	559,400	11.12
株式会社りそな銀行	244,300	4.86
酒井 香 織	229,600	4.56

(注)持株比率は、発行済株式の総数(5,104,003株)から自己株式数(74,068株)を控除した株式数(5,029,935株)を基準に算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株主優待制度のご案内

当社グループでは、株主様の日頃からのご支援に対し、「株主優待制度」を導入しております。本制度は単なる物質的な株主還元だけでなく、株主様への安全、安心のご提供を目的としています。ぜひご利用ください。

▶ ご優待内容

当社製品の優先購入ができる『優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)』を保有株式数、保有年数に応じて贈呈。

▶ 対象となる株主様

毎年6月末日現在の株主名簿に記録されている1年以上かつ1,000株以上ご所有の株主様。

※「優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)1年間有効」には、100%割引と30%割引の2種類がありそれぞれ購入の上限数を設定しております。

※保有している株式を全株売却するなどし、株主番号が変わった場合は、継続保有が途切れることになります。

▶ ご優待品(当社製マスク)



感染対策用マスク [ハイラック]シリーズ
 火災・特殊災害避難用マスク [ライフマスター]シリーズ



優先購入ができる製品類

役員 (2023年3月28日現在)

代表取締役会長	酒井 眞 一	常勤監査役	秋山 俊 雄
代表取締役社長	村川 勉	常勤監査役	伊藤 善 博
代表取締役副社長	堀口 展 也	社外監査役	階戸 照 雄
専務取締役	村松 光 二	社外監査役	白 日 光
専務取締役	田中 文 和		
常務取締役	井端 秀 明	常務執行役員	齊藤 雄 司
取締役	長坂 利 明	執行役員	木村 一 志
取締役相談役	酒井 宏 之	執行役員	若色 慶 祐
社外取締役	櫻井 し のぶ	執行役員	真 道 真

事業所・グループ会社

本社／東京
 先進技術センター／飯能
 テクノヤード／狭山、群馬、所沢、中井、嵐山
 配送センター／埼玉
 営業所／全国15か所
 環境テクニカルサイト／飯能(先進技術センター内)
 KOACHショールーム／名古屋、大阪、広島、九州
 連結子会社 SIAM KOKEN LTD.／タイ王国チョンブリ県

株主優待に関するお問い合わせ先

TEL : 03-5276-1932 FAX : 03-5276-6530 e-mail : ir@koken-ltd.co.jp

当社広報・IR室までお問い合わせください。

「世の中にない」「真に役立つ」が、私たちの研究開発の出発点

「世の中にない」「真に役立つ」を研究開発の出発点とし、「大きい企業」ではなく、規模の拡大はゆっくりであっても、世界にない、当社にしかできない「オンリーワン」「ナンバーワン」の技術・製品をもつ「強い企業」＝「技術立社」になることが私たちの目標です。この特集では、興研の研究開発についてご紹介します。

第8回 フィルタ技術の追求

● 防じんマスク用からクリーンシステム用まで研究開発は続く ●

防じんマスク用フィルタの役割

私たちの周囲には、様々な種類の粒子状物質が存在しています。これらの粉じんの中には、呼吸によって体内に吸入され、健康障害の原因となる物質も少なくありません。

こうした有害な粉じんの吸入を防ぐために着用する防じんマスクには捕集効率(ろ過性能)の高いフィルタが使用されます。また細菌やウイルスも粒子状物質の1つとして捉え、その防護用にも高性能フィルタが使用された防じんマスクが使われます。

なお、フィルタには、高い捕集効率に加え、吸気抵抗を低く抑えて楽に呼吸ができる性能も求められます。

健康を守るため繰り返されたフィルタ開発

「サカサ式防じんマスク」第1号は、外国の防じんマスクを模したスポンジ製で、見た目は汚くボロボロのできだったにも関わらず、性能は外国製と比べて遜色なく、逆に通気抵抗は低いという特長を持っていました。しかしマスクとして使用に耐えうるような製品ではありませんでした。

次に起毛した繊維を面体状に縫製した「エステルマスク」を開発し、これが国家検定に合格します。このマスクはスポンジ製よりはるかに呼吸が楽で捕集性能も高かったことから金属鉱山や自動車会社で採用されるなど、初めて営業的に成功する防じんマスクとなりました。

労働者の命・健康を守り、より快適に作業を行うための防じんマスク用フィルタの研究開発は、その後の「ミクロンフィルター」「アルファリングフィルタ」に受け継がれ、現在も性能向上の追求が続けられています。



エステルマスク



防じんマスク「I005R型」
マイティミクロンフィルター使用



防じんマスク「A121R型」
アルファリングフィルタ使用



アルファリングフィルタ

高い粒子捕集効率を誇る2つのフィルタ技術

<ミクロンフィルター(静電フィルタ)>

独自の技術によって原反である羊毛に静電気を帯電させ、その静電気力によって粒子を繊維表面に導く。これが主な働きとなって粒子を捕集します。

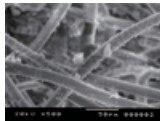
高密度の繊維構造を必要とせず、「捕集効率は高く」、「吸気抵抗は低く」、この相反する性能を兼ね備えています。

常に最高水準の性能と品質を保持し、類まれなフィルタとして長きにわたってご愛用いただいています。

ミクロンフィルターは、これまで時代や国家検定の要求事項等に合わせ、スーパーミクロン、ハイパーミクロン、マイティ(ユニー)ミクロンと性能を向上させ現在に至っています。



マイティ(ユニー)ミクロンフィルター



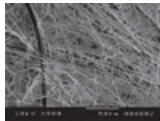
拡大写真(×500倍)

<アルファリングフィルタ(ろ紙フィルタ)>

フィルタの繊維密度を上げることによって捕集効率を高めることができるろ紙フィルタは、吸気抵抗の規格をクリアするために、ろ過面積を広げる必要があります。

そこで、国内で初めて極細径の繊維をラウンドプリーツに一体抄紙成型して誕生したのがアルファリングフィルタです。

現在ではさらにろ過面積を広げることに成功し、コンパクトな形状はそのまま、より低い吸気抵抗を実現しています。



拡大写真(×500倍)

スーパークリーンを実現する超高性能エアフィルタ

<ナノファイバーエアフィルタ[FERENA]^{フェレナ}>

オープンクリーンシステム[KOACH]のプッシュフードに搭載された[FERENA]は、エレクトロスプレニング法(電界紡糸法)による超高性能ナノファイバーエアフィルタです。

この方式は研究所レベルでは50年以上前に開発された超極細繊維の製法で、世界中で製品化への挑戦が行われてきた技術です。

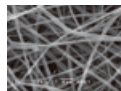
しかし、製品化は困難を極めていました。当社は、この難関に挑戦し続け、素材としては2009年に、そして2011年に遂にユニットとして製品化に成功しました。

「FERENA」の最大の特徴はULPAフィルタと同等の捕集性能を有しながら、圧力損失をHEPAフィルタと同等に抑えられることです。

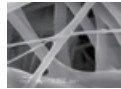
「FERENA」を搭載することでプッシュフードのファンに過大な負荷をかけることなく、省エネルギーでのスーパークリーンの実現が可能となりました。

<FERENAの特徴>

- ① ナノファイバーの存在比率が高い
- ② フィルタとして有効なランダム構造
- ③ 耐水・耐油性に優れる
- ④ 耐熱性に優れる
- ⑤ ボロンが出ない



市販ULPA拡大写真(×10,000倍)



市販ULPA拡大写真(×10,000倍)



FERENAユニット



オープンクリーンシステム[KOACH]
FERENA搭載

株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
基準日	12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	同上
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所(スタンダード市場) 当社ホームページに掲載 https://www.koken-ltd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由にて電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。(お問い合わせ先)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・連絡先 0120-232-711 (フリーダイヤル)
・ホームページ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社のホームページから最新の会社情報や決算短信など詳細なIR情報がご覧いただけます。ぜひご利用ください。

<https://www.koken-ltd.co.jp/>



トップページ



IR情報サイト

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地

株主様向け
アンケート

株主の皆様のお声を お聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス

②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード

7963

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……



検索窓から

いいかぶ

検索



kabu@wj.m.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

(2201)

株主総会資料に関するお知らせ

2023年3月以降の株主総会から株主総会資料は原則電子提供となっております。書面での受領をご希望される株主様で、まだお手続きを済ませておられない方は、口座を開設している証券会社または、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。なお、第60期定時株主総会における株主総会資料は、株主様への周知不足のおそれがある等の理由から、電子提供措置とともにすべての議決権を有する株主様に対し書面にてご提供しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。